

39. 水の世界地図 The Atlas of Water

Robin Clarke・Jannet King著

沖 大幹 監訳 沖 明 訳

発行元：丸善出版

B 5 変

124ページ

ISBNコード 978-4-621-07644-6

発行年月 2006年01月

2,730円《税別2,600円》



目 次

- 1 有限な資源 (流れ去る水／増える人口、足りない水／増大する需要／水の収奪)
- 2 利用と濫用 (家庭における水／食料のための水／灌漑／農業による水汚染／工業用水／産業汚染／発電用水／ダム？ダメ？)
- 3 水と健康 (水に手が届くか／公衆衛生／汚れた水で人が死ぬ／疫病のアジト／密やかな水汚染)
- 4 自然界の改変 (水を分かť／湿地帯の干拓／地下水のくみ上げ／拡大する都市／力づくの手段／洪水／旱魃 (かんばつ))
- 5 水をめぐるあつれき (協調の必要性／急所／戦争の武器)
- 6 これから歩む道 (“水”商売／水供給の保全／優先順位付け／将来展望)
- 7 表 (需要と資源／利用と濫用)

紹介コメント

この本は、「The Atlas of WATER」の訳書である。日本は温帯で雨の多い地域に位置しており、水に対してあまり切迫した危機感を感じないが、この本は世界の水問題の個別のトピックについて、数字を前面に出し、ロジカルに説明している。また、ビジュアルも多用しているため、教育用にも非常にわかりやすい。地下水の話題のみに特化した本ではないが、各トピックに地下水の話題が随所にちりばめられている。地下水も水資源の一つであり、このように水資源全体からの観点を常に忘れてはいけないという意味で、本書は重要なものである。(ちなみに、現在は2nd Editionが出ているようです)